

新たな集落 山西のくらし

■基本方針

- 「あんしん」
・被災して失ったこれまでのくらしを取り戻す環境づくり
・次世代基準の住宅性能により、被災者にかかるランニングコストを低減

- 「あたたかさ」
・地域特有の気候に配慮した住戸配置
・県産材をふんだんに利用したあたたかみのある木のすまい

- 「ふれあい」
・居住者間のコミュニケーションや高齢者の見守りに配慮
・地域コミュニティと集落をゆるやかにつなぎ、親しみのもてる団地へ

- 「みらい」
・子育て世代や移住者も心地よく暮らせる魅力ある未来に繋げる住環境を整備

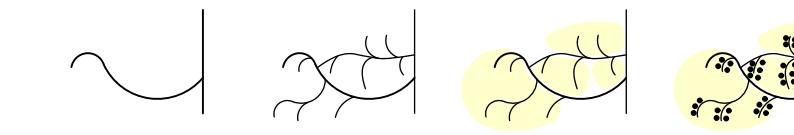
■近隣住戸への配慮

仕出業を営む隣家の生活・営業動線の妨げにならないよう必要なスペースを確保

■山西敷地特性

- ・敷地北側は雑壇地形
- ・地域交流スペースに隣接
- ・まつぼり風の影響を受けやすい

■配置ダイアグラム



高低差のある敷地形状にあわせた動線計画となるよう車道を設定し、クラスター型の住戸配置計画としました。自然にじむ集落風景を形成します。

■「ふれあい」のある住戸配置

- ・玄関と庭を向かい合わせ、ふれあう機会の多い見守り型プラン
- ・高齢者向けの2LDKと子育て世代向けの3LDKの配置を混在させ多世代間の交流を促します

■駐車場

- ・道沿いに駐車場を設け、敷地の合理的な利用をします
- ・車道と歩道を分離し安全な環境を目指します

